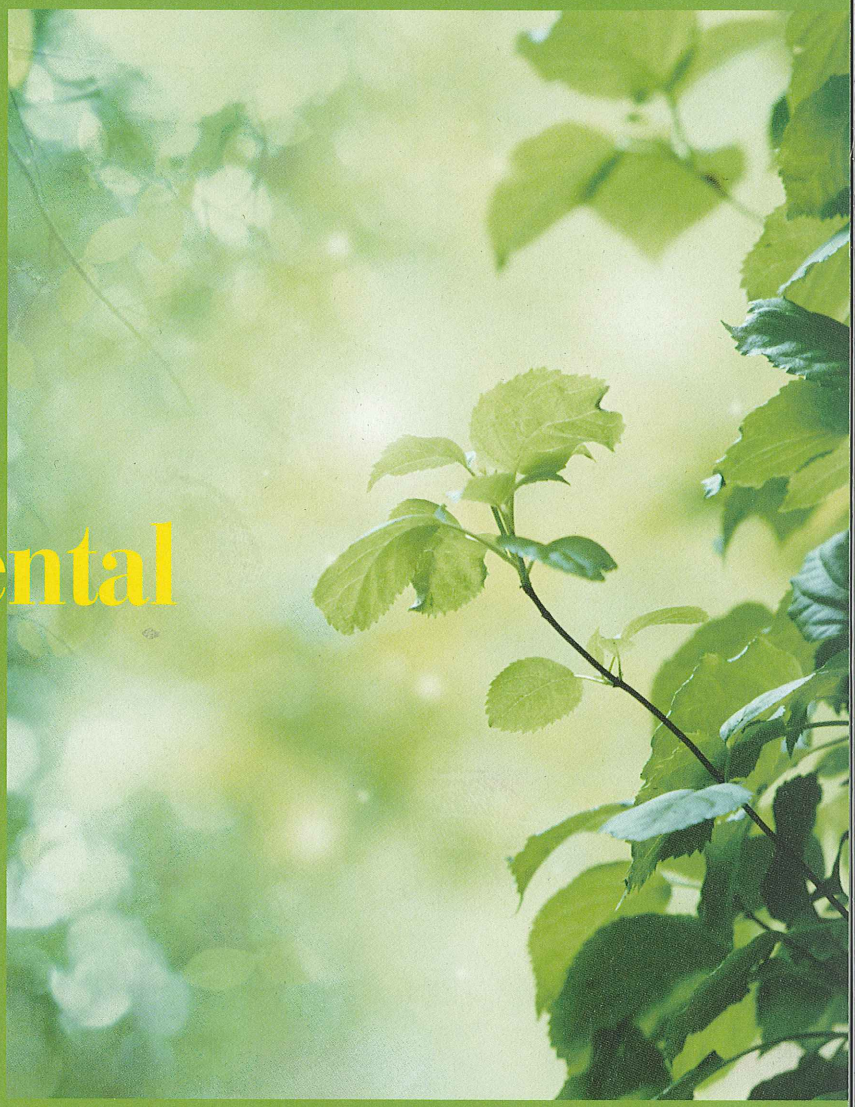
Aichi Environmental Award

2011 愛知環境賞
受賞事例集



主催:愛知県
共催:環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)、中日新聞社

優秀賞

一般社団法人 泥土リサイクル協会

連絡先　一般社団法人　泥土リサイクル協会
稲沢市横地町12　0587-23-2713

「資源の有効活用と環境の保全を目指した啓蒙活動」のもと「適正な技術」をもって「確かな品質」で泥土をリサイクル

受賞のポイント ► 建設汚泥のリサイクルに関する技術指導、講習会、マニュアル作成など行政と連携した幅広い普及・啓発活動により、建設汚泥の有効利用と廃棄物の大幅な削減に貢献した点が評価された。

概要

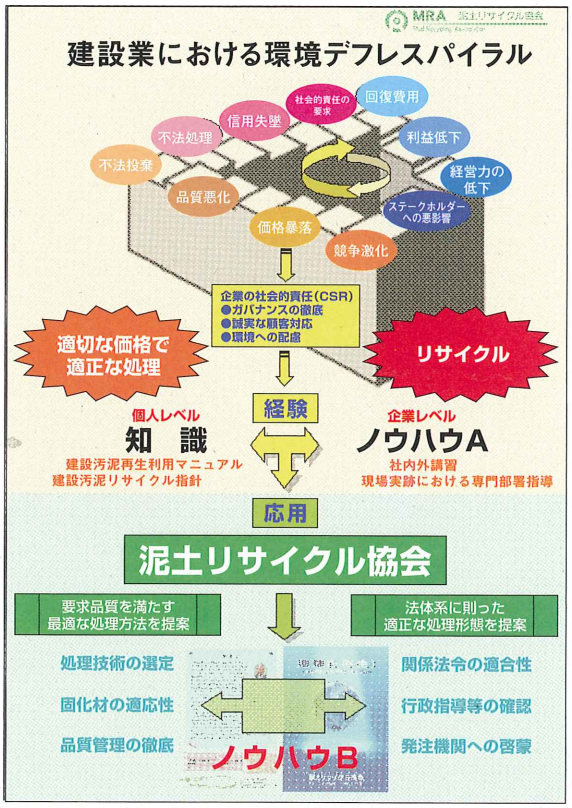
本協会は、従来廃棄処分されることが多い泥土のリサイクルを促進することで、資源の有効利用、生活環境の保全を図り、循環型社会の構築に寄与することを目的としています。

●技術革新の促進
泥土処理に携わる会員企業の技術革新を促進。

●関係法令等の整理
法律等の解釈が不明瞭な点について環境行政と情報交換。

●泥土の具体的なリサイクルの提案
講演会や講習会等、協会のホームページの相談窓口において、建設汚泥の適正な処理方法について指導・教育を実施。

●地方自治体との連携強化
泥土リサイクルに関する全国的な実態調査とその整理を行い、実状に即したリサイクル処理形態について地方自治体と協議を行う。



先駆性・独創性

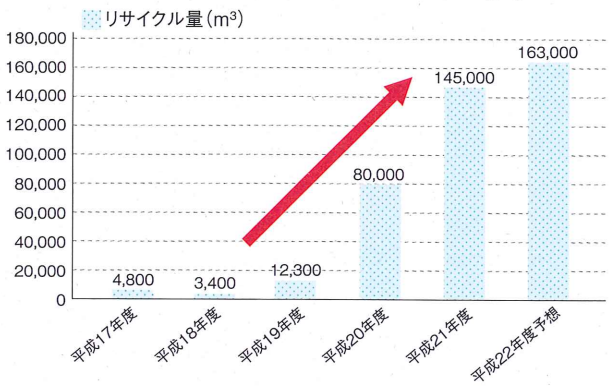
●泥土処理に携わる会員企業がそれぞれの立場から問題提起を行い、専門家等や異業種分野からの情報を多面的に取り込むことにより、技術の革新を促進するなど建設業界では類を見ない協会です。会員企業が保有する技術をオープンイノベーションすることで、泥土のリサイクルを推進しています。

●実務で直面する問題点を設問とするアンケート調査を実施し、調査結果を分析・考察した小冊子を公開・配布することにより、法令遵守を核とした建設汚泥処理の在り方の重要性を啓蒙しています。

●建設汚泥リサイクル技術の国際支援など、環境技術について経済連携協定(EPA)にある二国間協力を実践しています。

啓発効果

●東海圏において、数年前までは大規模な建設汚泥リサイクルの実績はありませんでしたが、本協会が法令等を整理し指導することで、建設汚泥リサイクルが多くの発注機関で具現化されてきました。

●建設汚泥の処理には排出事業者責任が問われますが、発注機関への啓蒙活動により、ステークホルダーに対して、適正処理に対する重要性の認識が進んできています。

●廃石膏ボードを建設汚泥の再生処理に利用することで、異業種の業界が抱える環境問題にも波及効果をもたらしています。